**ハンドマイク街頭演説原稿例　感染再拡大に緊急対応を**

二〇二〇年十一月一七日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、こんにちは。日本共産党です。この場所をお借りして、日本共産党の政策をうったえさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　みなさん、埼玉でも一週間あたりの新規感染者が過去最高の５００人を超えるなど、県内の感染状況はますます深刻になっています。高齢者施設や飲食店などでのクラスターも増え、まさに感染拡大の第３波ともいうべき状況です。感染者を受け入れる医療機関の病床もひっ迫しつつあり、国の緊急対応はまったなしです

そうした中、日本共産党は先日、感染拡大の「第３波」の到来を直視し、新型コロナ対策として「検査・保護・追跡」の抜本的強化を求める提言を発表しました。提言では、国の緊急対応として、以下の３点を強く求めています。まず第一に、感染が急増している地域では、無症状者を含め感染者を把握・保護するため、大規模で集中した面的検査をおこなうこと、病院や介護施設等への社会検査をおこなうことを政府の大方針にすることです。第二に、急激に増えている陽性者を確実に把握・保護するため、感染追跡の専門家の確保を急ぐとともに、保健所の体制を国の責任で抜本的に強化することです。第三に、「医療崩壊」を絶対に起こさせないために、医療機関の減収を補てんし、自治体が軽症者らの宿泊療養施設を確保できるよう国が緊急の財政措置をおこなうことです。

日本共産党は、県民のいのちとくらしを守るために、地方議員と国会議員が連携し、国が提言にそった対応に踏み出すよう全力で取り組んでいきます。感染拡大の抑止に逆行するＧＯＴＯキャンペーンはただちに見直し、地域ごとに飲食業や観光業に直接支援が届く仕組みの実現を強く迫っていきます。

みなさん、新型コロナの再拡大により、年末から来年にかけて中小企業の倒産・廃業、それに伴う大量失業の危機が広がっています。消費の落ち込みよる地域経済の疲弊も深刻です。日本共産党は、中小企業、フリーランス・自営業者の命綱となっている持続化給付金の継続、休業手当が支払われない労働者を支援する「休業支援給付金」の対象拡大、文化芸術活動を継続するための「支援金」の支給を強く求めていきます。路頭に迷う人を一人も出さない決意で引き続き全力をつくします。

　みなさん、菅首相による日本学術会議への人事介入について、このままあいまいにするわけにはいきません。この問題は、決して学者だけの問題ではありません。戦前、滝川事件など学者への弾圧をきっかけに政府の暴走にもの言えぬ社会がつくられ、あの悲惨な侵略戦争へとつきすすんでいったのです。この歴史を決して繰り返してはなりません。戦前の暗黒社会でも、国民主権と民主主義の実現をめざし、反戦平和を貫いてきた日本共産党を今度の総選挙で何としても大きくしてください。野党連合政権の実現で、強権政治を推し進める菅自公政権を倒し、新しい政治をごいっしょに実現していきましょう。

　最後に、日本共産党が発行する「しんぶん赤旗」の購読をお願いしまして、この場所をお借りしてのうったえを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）